

地方創生推進交付金に係る事業実施結果報告【令和元年度報告】

(各交付対象事業の重要業績評価指標(KPI)の実績値等)

交付対象事業の名称	事業内容	年度	総事業費 単位:円	交付金額 単位:円	本事業における重要業績評価指標(KPI)			本事業終了後 における実績値	実績値を踏まえた事業の効果について	
					指標	事業開始前	目標値 (R1年度)	実績値 (R1年度)	効果	実績に対する評価 今後の方針
1 佐渡文化財を核とした文化芸能資源の活用による経済活性化事業	<p>1.運営 財団の運営・管理に係る必要経費を補助する。</p> <p>2.文化・芸能継承活動事業 1年目から引き続き、普及・継承事業を一元的に対応・統括する調整窓口を運営するとともに、活用・発信事業と効果と運動するように仕掛け、協力サポーター体制づくりを促進させる。具体的には芸能集団による継承・普及活動の増及び島内観光事業所の芸能研修による佐渡芸能・文化の浸透及び継承者の確保に向けた気運醸成。</p> <p>3.文化財活用事業 創作芸能集団のプロデュースを中心に「稼ぐ」文化プログラムを推進する。特に他の芸能集団との連携や姉妹都市や県内外イベントを積極的に行い、芸能集団の存在・活躍をより一層世間へ知らせる活動を展開する。また、建築部門では佐渡における宮大工三流派の究明を図るべく、島内の職員を対象とした育成事業を通して独自の工匠制度を設ける。認定を与えた職人らでつくる組合で重要伝統的建造物や古民家などの保全をする体制の構築を目指しながら、古式技術を活かしつつも現代のライフスタイルに合った技巧品を開発・生産してもらおう。主に建具や家具、生活雑貨をつくり、地元での需要を喚起しながら将来的には県内外や姉妹都市、海外への販売を目指すなど幅広い事業展開を狙う。</p> <p>4.佐渡文化対外発信及び文化交流事業 文化財団が行う事業を総合的に発信する。観光DMOと連携のもと、ホームページ、SNS等インターネットによる情報発信、創作芸能集団によるツーリズムEXPOをはじめとしたイベント等への積極参加で認知度を上げるとともに、技巧品や工芸品のPRや新規グッズの開発・販売を行い、本来備えている文化芸能の価値をより広く世間に伝える事業を展開する。</p> <p>【佐渡民謡活性化実行委員会負担金】 佐渡民謡活性化実行委員会の所有するホームページ「さど芸能ARCHIVE」(以下、「ARCHIVE」という。)、パンフレット「佐渡伝統芸能BOOK」及び佐渡民謡DVDなどを活用し、島内外問わず多くの人に佐渡の伝統芸能の魅力を発信する。具体的には、ただ動画を見せるだけでなく、ARCHIVE内に「芸能を見に行く」ページを開設し、伝統芸能が披露されている祭り等への行程や周辺情報を掲載し、実際に見に行きたくするよう</p>	R1	30,963,513	15,481,756	指標①	外国人観光客数(人)	4,462	5,462	7,892	<p>地方創生に効果があった</p> <p>(KPI未達成理由) ・KPI②については、創作レパートリーを追加して出演機会の確保を進めていたが、メンバーが自身の仕事を行いながらの参加となることから、特に遠方での出演が困難となったことから未達成となった。 ・KPI③については、伝統建築技術の工匠制度化や技術者の育成による雇用者数の増加を目指したが、工匠制度や技術者育成が長期的な取り組みとなっていることからKPI達成に繋がらなかった。 ・KPI④については、佐渡文化の情報発信により増加を図ったが、全体的な市の観光客入込数の減少が響き未達成となった。</p> <p>(実績を踏まえた事業の見直し) ・KPI②の達成に向けては、芸能集団の更なるレパートリーの追加や情報発信によりメンバーの増加に繋げることで出演機会を増やすとともに、島内での活動も行い、それをSNS等で発信する等の新たな出演方法を模索しながらKPI達成に繋げていく。 ・KPI③については、技術者の育成だけでなく、材料の供給や保管体制をプロジェクト化することで技術者の支援を行い、ひいては技術者の確保、雇用の増加に繋げていく。 ・KPI④については、伝統芸能に関する情報が網羅された佐渡芸能アーカイブの更新や活用及びSNS等による島内の祭り情報の発信等を強化することで観光客数の増加を図ることでKPI達成に繋げていく。</p>
		指標②	創作芸能集団派遣数 (ステージ)	0	25	12				
		指標③	佐渡文化財団及び島内建築業 (伝統建築部門)雇用数 (人)	1	3	2				

地方創生推進交付金に係る事業実施結果報告【令和元年度報告】

(各交付対象事業の重要業績評価指標(KPI)の実績値等)

交付対象事業の名称	事業内容	年度	総事業費	交付金額	本事業における重要業績評価指標(KPI)			本事業終了後における実績値	実績値を踏まえた事業の効果について		
			単位:円	単位:円	指標	事業開始前	目標値(R1年度)	実績値(R1年度)	効果	実績に対する評価今後の方針	
	工夫する。また、ARCHIVE内にネットショップページを開設し、「佐渡伝統芸能BOOK」及び佐渡民謡DVDなどを幅広く実費頒布する。その他、アクセス数を増やすため、ARCHIVE内のコンテンツ充実を図るとともに、継承・活用事業と効果が連動するように仕組みを作る。 5.その他文化振興事業 文化財保護事業補助、伝統芸能継承事業補助により、伝統文化の継承を支援するとともに、市民参加型の文化振興を図る。文弥人形などの指定文化財を継承する取り組みを行う団体を支援する。				指標④	市営観光・文化施設入場者(人)	223,907	243,907	224,891		

地方創生推進交付金に係る事業実施結果報告【令和元年度報告】

(各交付対象事業の重要業績評価指標(KPI)の実績値等)

交付対象事業の名称	事業内容	年度	総事業費	交付金額	本事業における重要業績評価指標(KPI)			本事業終了後における実績値	実績値を踏まえた事業の効果について		
			単位:円	単位:円	指標	事業開始前	目標値(R1年度)	実績値(R1年度)	効果	実績に対する評価 今後の方針	
2 地域商社 × 佐渡次世代農業ビジョン実践事業	<p>【佐渡次世代農業ビジョン実践事業】</p> <p>◆農業次世代人材確保事業 次世代の佐渡農業を担う人材の確保・育成を継続して行う。就農促進イベントに参加し、積極的に新規就農希望者の移住を促進するとともに、佐渡において農業経営をスタートするにあたり指南書となるパンフレットを作成・配布する。</p> <p>◆園芸産地再生・担い手育成実証委託事業 園芸産地における荒廃農地の再生・生産実証事業を継続・拡充して行う。1年目の実績と地域商社による消費者ニーズの傾向を検証し、島内シェア獲得に向けた品目選定を精査した上、複数の園芸品目を組み合わせた大規模経営を佐渡の次世代農業モデルとする実証事業を農業法人等へ委託する。同時に新規就農者の研修先としてモデル農業を実践していく担い手の育成も継続し行っていく。</p> <p>【地域商社事業】</p> <p>◆佐渡版地域商社機能構築費 市場のニーズに生産現場の要望をマッチングさせ、生産体制や販売戦略に反映させるとともに島内外の販路拡大を推進する体制を佐渡における地域商社機能として位置付け、1年目事業でネットワークを築いた島内外の事業者や関係団体・機関と調整の上、前述の地域商社機能の構築を目指す。</p> <p>◆地産地消事業 生産拡大の出口戦略として、地産地消による島内消費の拡大を推進する。</p>	R1	10,380,182	5,190,091	指標①	主要農産物の販売額 (百万円)	6,213	6,400	6,132	<p>(KPI未達成理由)</p> <p>・KPI①については、園芸野菜全般において夏の異常高温・乾燥による焼けや水不足による枯れのほか、高温が推移したことによる生育の早まりなどにより、計画的に出荷ができなかった。出荷においても規格品に至らないなど、著しく品質が低下し、出荷できなかったため販売額につながらなかった。</p> <p>・KPI②についても、KPI①の要因のほか、佐渡市地産地消推進会議での市場側からの意見として、「絶対的な佐渡産品の量の不足と、生産技術の未熟さ、高齢化、担い手の不足」など、学校給食として使用できるだけの品質、量が確保できず使用率が下がる見込みとなった。</p> <p>(実績を踏まえた事業の見直し)</p> <p>・KPI①、②については、生産量が少ないことが大きな課題であるため、生産現場での生産拡大が必要であるとともに、多くの生産物の中から、規格品のほか、規格「外」についても十分に活用できるよう生産・流通・販売が一体となった島内循環の仕組みを既存の農家を中心に地域毎にまとまりをつくり、生産量と出荷量の底上げを図る。</p> <p>・KPI①、②をあげるためには、高齢化や担い手の不足による労働力不足を補うため、生産性の効率化、省力化を図り生産量を確保することも課題である。そのため、スマート農業の導入、実証が必要不可欠であるが、水田水管理センサーについては、全国的に導入が増え入手が難しいため見送る。また、自動草刈機については2019年デモ機による実証を実施したが、当市は中山間地域であり傾斜がきつく、独自の不整形なほ場のため導入に適していなかったため見送った。2020年度は機械の性能を見直し実証を行い、早期導入につなげKPI達成につなげる。</p>	
					指標②	学校給食での佐渡産野菜使用率(%)	28.8	35	21.1		地方創生に効果があった
					指標③	地域商社及び農業法人等における雇用者数(人)	6	8	9		

地方創生推進交付金に係る事業実施結果報告【令和元年度報告】

(各交付対象事業の重要業績評価指標(KPI)の実績値等)

	交付対象事業の名称	事業内容	年度	総事業費	交付金額	本事業における重要業績評価指標(KPI)				本事業終了後における実績値	実績値を踏まえた事業の効果について	
				単位:円	単位:円	指標	事業開始前	目標値(R1年度)	実績値(R1年度)	効果	実績に対する評価 今後の方針	
3	佐渡戦略産品ブランド化プロジェクト	<p>【佐渡米品質向上プロジェクト】 1等米比率向上、販路拡大に伴う、ブランド力の向上による販売量及び農家所得の向上を実現。将来リーダーを担う新規就農者、若手農家を中心に自ら率先して生育調査を実施するサポーターを選定し、モデル圃場100か所においてプロジェクトを中心に多様な品種の高品質・良食味米生産を図る。</p> <p>【ブランドカアップのための販売戦略】 佐渡産農産物のブランド化をさらに進め、付加価値を高め国内外に販売することにより、農家所得向上及び「朱鷺と暮らす郷認証米」の販売先ルートと多様な販売力強化を構築する。1年目は、海外輸出等に向けた販路拡大のための販売プロモーションを実施するとともに、新規取扱店舗獲得に向けた営業活動を展開する。</p> <p>【企業支援対策事業】 佐渡産品の情報発信、消費者等の動向確認のほか、海外への商談会、海外販路につながる商談会等への出展にかかる経費を一部補助し、更なる販売網販路拡大を図る。</p>	R1	33,986,560	16,993,280	指標①	輸出量(米・柿及び加工柿)(t)	0.4	4	53	地方創生に効果があった	<p>(KPI未達成理由) ・KPI②については、佐渡稲作振興会での令和元年度の作柄評価から、夏の異常高温による気象条件による影響だけでなく、異常気象に対処できる部分の対応ができなかった人的な要素(入水管理や土づくり、施肥等)の栽培管理不足が指摘されており、栄養不足による葉色の低下を細かく把握できなかったことで、肥料や水管理が不十分となった結果、未熟粒、乳白粒が発生し、格落ちとなり一等米比率は、事業開始前より低い結果となった。 ・KPI④については、関西以西をターゲットに新規店舗の拡大を進める。 (実績を踏まえた事業の見直し) ・人的管理で対処できる部分を事前に気象状況やその対処方法をこまめに農家に情報提供する他、異常気象の影響は当市の独特な地形にも左右されることから、全島的に生産作付面積と水稲の作付率を増加させることで、地域での一等米比率の偏りが出ても補完できるように実施する。 ・作付率を増加させることで、生産面積と出荷数量の増加との法人等の担い手に農地の集約が見込まれることから、色彩選別機導入台数の見直しを行い1等米比率の向上を図る。 ・朱鷺と暮らす郷づくり認証米の販売店舗数については、関東圏では営業活動により一定の成果が出ていることから、関西圏中心での販路拡大プロモーション実施する。特に購買意欲につながるよう島の魅力(食の文化、歴史、背景)もPR発信し、KPI④かつ、KPI①、③に寄与するようプロモーションを行う。</p>
						指標②	コシヒカリ1等米比率(%)	84	86	47.6		
						指標③	JA重点作物(米・柿・干し柿)販売額(百万円)	4,978	4,988	5,660		
						指標④	「朱鷺と暮らす郷づくり認証米」の販売店舗数(店舗)	322	328	299		
4	新たな観光資源開拓×佐渡版DMO戦略的観光地域づくりプロジェクト	<p>【観光地域づくり推進事業】 佐渡版DMOが中心となり、地域住民、商工業・飲食業、宿泊施設、農林漁業、交通事業者、行政が連携した「地域づくり」、「まちづくり」に資する事業を実施する。また、モニターツアー等における調査を実施し、調査分析により今後の佐渡市の観光施策におけるターゲット選定、観光地域づくりの基礎データとし検証する。</p> <p>【外国人旅行者誘致事業】 ・台湾・アジア方面については、トップセールスや県内自治体との連携による旅行会社、商談会等へのセールスを実施する ・フランスなどFITの誘客は、人気ブロガーの活用などSNSを活用した情報発信や佐渡ビジットアンバサダーの活用など佐渡に興味を持つ客層へ直接アプローチできる仕組みを探索していく。 ・クルーズ船の誘致と受入体制の整備を行い、市内での消費活動と上陸した外国人を通じて「佐渡」の発信を進めていく。 ・県内外の自治体や民間事業者等と広域的な連携を行いながら、広域観光ルートの構築と佐渡への誘客に取り組む。(佐渡ルートの設定を構築)</p>	R1	104,998,791	52,499,395	指標①	さどまる倶楽部会員が佐渡を訪れた数(人)	1,500	2,000	3,073	地方創生に効果があった	<p>(KPI未達成理由) ・③については、地域資源の活用と体験観光を推進することで、滞在時間の延長が図られていると考えられる。方針としては正しいので今後も継続的に拡大する。 ・④については、首都圏等にて開催されるイベントに積極的に参加し、倶楽部会員数は増加で順調に推移していた。しかし、年明け以降は新型コロナウイルス感染症によるイベント自粛、移動自粛等が影響し営業活動ができず未達成となった。 (実績を踏まえた事業の見直し) ・KPI④さどまる倶楽部会員数は、1年目の実績として未達成ではあるが、2年目以降の数値目標は、会員相互による勧誘の仕組みの機能を期待した目標となっているため、この仕組みが機能しないと達成が危ぶまれる状況にあることから、一部事業の見直しを行い、「外国人客+日本人の友人」をターゲットとし、さどまる倶楽部会員の拡大のための、「佐渡」の情報発信を重点的に実施する。</p>
						指標②	外国人延べ宿泊数(人泊)	17,000	18,000	19,296		
						指標③	観光客1人当たり平均宿泊数(泊)	1.89	1.91	1.72		
						指標④	関係人口数(さどまる倶楽部会員数)(人)	16,000	20,000	19,595		

地方創生推進交付金に係る事業実施結果報告【令和元年度報告】

(各交付対象事業の重要業績評価指標(KPI)の実績値等)

交付対象事業の名称	事業内容	年度	総事業費 単位:円	交付金額 単位:円	本事業における重要業績評価指標(KPI)			本事業終了後 における実績値	実績値を踏まえた事業の効果について	
					指標	事業開始前	目標値 (R1年度)		実績値 (R1年度)	効果
5 と文化が薫り 自然と人が共生できる美しい島	<p>史・文化だけではなく自然(ジオパーク、世界農業遺産)を含めた、本市の総合戦略のコンセプトでもある「歴史と文化が薫り 自然と人が共生できる美しい島」を目指す。2019年4月オープンした佐渡金山のガイダンス設置に加え、ジオパーク拠点施設整備を行うことにより、3つのプログラムの関係性を整理する。</p> <p>【体験型イベント支援補助】 参加・体験型観光を促進するため、小木たらい舟・さざえ祭りイベントについて支援を行う。</p> <p>海の体験だけでなく、地元の民謡団体と連携し、民謡の披露や民謡の体験ができるよう進める。</p> <p>【佐渡体験交流事業】 友好バス事業は、協賛観光施設等でバス券を提示することで入場料等が無料又は割引となる事業であり、佐渡への家族旅行等を誘致し、佐渡航路の利用促進、市民間の相互交流など佐渡観光の振興を図る。対象となる施設数を増やし誘客数の拡大を図る。冬期旅行推進調査委託については、通常よりも高めに価格設定をした商品も作成し、その動向や消費額、利用数等を検証する。</p> <p>【歴史・伝統文化等体験施設関係事務費】 佐渡金銀山ガイダンス施設、ジオパーク拠点施設と連携し、「参加・体験型」施設としての実習指導のモデルコース設置事業を展開。また、佐渡版DMO、佐渡文化財団との連携を強化し、活動の活性化、裾野の拡大を目指す。特色ある佐渡の魅力を発信する。</p> <p>【ジオパーク推進事業】 世界文化遺産登録、日本ジオパーク、世界農業遺産3つのプログラムそれぞれについて目的の位置づけ、役割分担等の意思統一を図り、ジオパーク活動をさらに発展させるため、市民講座、ガイド養成講座を開催し、知識を深める。また、ジオパークに関する情報発信を充実させるため、拠点施設内にロールスクリーンを活用したパナースタンドを設置する。</p> <p>【佐渡金銀山ガイダンス施設管理運営事業】 2019年4月にオープンした佐渡金銀山ガイダンス施設は、佐渡金銀山の価値をわかりやすく紹介するとともに、来訪者を現地へと誘導するための情報発信の拠点施設とする。また、ガイドツアーの受付を行うガイドステーションや佐渡金銀山関連の講演会や研修など講堂を会場に実施する。</p> <p>【生物多様性戦略推進事業】 本市の世界農業遺産ブランドを広くPRするため、平成30年度ブランドマークを制定。マーク活用に向けての取り組みを実施する。</p>	R1	67,774,047	33,997,023	指標①	市営観光・文化施設入場者(人)	248,984	258,000	224,891	<p>(KPI未達成理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①については、特別展等を開催し集客を図ったが、全体的な市の観光客数減少が大きく響き未達成となった。</li> <li>③については、インバウンド(新規旅行者)の増加に伴い、リピート率が結果的に低下している傾向にある。</li> </ul> <p>(実績を踏まえた事業の見直し)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市営観光・文化施設入場数については減少傾向にあったが、博物館における特別展開催及びきらりむかが新たにできたことにより増加する見込みであったが、新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、観光客数の減少のほか、施設閉館となり未達成となった。</li> </ul> <p>2020年においても特別展開催を計画するとともに、博物館・資料館等11施設紹介冊子を作成し、より効果的に3つのプログラムについて情報発信し市営観光・文化施設入場者数増加を図る。</p> <p>・当市の最大資源である3つのプログラムが他地域に対し効果的に伝えられていない課題を踏まえ、「佐渡らしさ」の見せ方を工夫するため、佐渡ジオパーク推進協議会が中心となり、「見て、聞いて、触れて、味わって、交流する」体験、学習型観光を推進する。特に2019年に教育旅行として設定したモデルコースを2020年より佐渡ジオパーク推進協議会が推進母体となり事業PR、旅行者受け入れを行うことで、地質資源が農業遺産、文化遺産の発展に深く関わっていることや、その成り立ちや背景を一体的に情報発信することにより、市営観光・文化施設入場者数、ガイド利用者数増加につなげる。</p> <p>・3つのプログラムにかかる全体見直しの一環として、2021年世界農業遺産認定10周年をまに、国内の世界農業遺産認定地と連携し、首都圏にて10周年記念イベントを実施する。イベントでは、GIAHSの認知度向上を図るだけでなく、KPI全てにつながるよう3つのプログラムの体験、観光型観光について情報発信する。</p>
		指標②	3ガイド(金銀山・トキ・ジオパーク)利用者数(人)	67,083	68,113	79,760	地方創生に効果があった			
		指標③	リピート率	34.0	38.0	33.8				